



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1720 回例会

平成 24 年 10 月 1 日 (月)

18:30~ 海南省「温山莊園」月見例会

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介 米山奨学生 代 向斐 様
5. 出席報告
会員総数 55 名 出席者数 38 名
出席率 69.09% 前回修正出席率 76.36%

6. 会長スピーチ

皆さん今晚は。花田会長が所要のため、代理でスピーチさせていただきます。

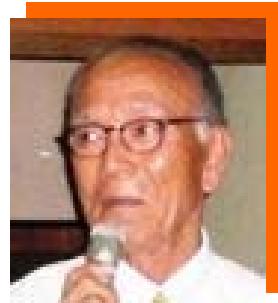
R I 及び地区からの報告事項はございません。

本日はここ温山莊園の本館をお借りして月見例会を開催することといたしました。お天気が心配でしたが、台風一過素晴らしい観月の一夜になるものと楽しみにしております。温山莊園は歴史ある庭園として、和歌山では昔から親しまれております。後ほど、阪井園長より温山莊園についてお話をさせていただきます。

昨日 9 月 30 日は中秋の名月でしたが生憎の天気で月を見ることは出来ませんでした。本日は、月見について少しお話をさせて頂きたいと思います。

「中秋の名月」には月を眺めて、供え物をするなど言った習慣がありますが、そもそも「中秋の名月」とはなんでしょうか。昔から、秋こそが月を見るのに良い季節とされていますが、旧暦で秋である 7 月 8 月 9 月のちょうど真ん中の日が、8 月 15 日です。そのため、旧暦 8 月 15 日の月を「中秋の名月」と呼んで、月をめでることにしたのです。「中秋の名月」は十五夜とも言われます。何故、秋に月を見るのでしょうか。その理由は、月の高さと、天気です。太陽が天球上で通る道は、夏は高く、冬は低いことはご存じでしょう。月の通り道も太陽とほぼ同じで、夏は高く、冬は低いのです。そこで、ちょうど見上げるのに適した高さの

副会長 阪口 洋一 君



満月となると、春か秋になります。しかし、「春がすみ」や「秋晴れ」という言葉があるように、天気の良さでは断然秋なのです。そこで、秋が月見のシーズンとなったといわれています。

ところで、「中秋の名月」は満月だと思っておりましたが、そうではない事の方が多いと言うこと、ご存じでしたでしょうか。年によって 1 日~ 2 日ずれるそうです。これは、



旧暦で新月と満月になる日のずれによるものらしいです。ちなみに、今年はちょうど満月でした。昨年も満月で来年も満月です。一昨年は 1 日ずれています。満月は大体 1 か月に 1 度なのですが、たまに 1 か月に 2 度あることがあります。この、2 度目の満月をブルームーンというそうです。今年は、8 月 2 日と 31 日が満月で後の 31 日の満月をブルームーンと言います。大体 3 年に 1 度起こるそうです。次は 2015 年 7 月 31 日です。ブルームーンを見ると幸せになれると言う言い伝えもあるそうです。

昨日の中秋の名月は暦では仏滅でした。月見が仏滅でも縁起が悪いわけでもないのですが、中秋の名月は必ず仏滅になります。過去から未来ずっと仏滅です。お月見の風習は、奈良時代に中国から伝わったと言われています。平安時代には貴族などの間で観月の宴や、舟遊びで歌を詠み、宴を催したそうです。平安貴族らは月を直接見ることをせず、杯や池にそれを映して楽しんだそうです。今宵は温山莊園の池に映った月をめで、俳句でも一句いかがでしょうか。月見の風習は外国では、中国、韓国、台湾では中秋節として盛大にお祝いして、祝日となっているそうです。また、南米の日系社会でも、日本と同様に十五夜の月を中秋の名月として観月するそうです。ただし、南半球では春であり、月の位置も月を見るのに適してないようです。

今宵はどうぞ月見例会をお楽しみください。有難うございました。

7. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 R C 10 月 4 日 (木) → 10 月 4 日 (木)

11:00 時集合 職場見学 (皆地笠作りの見学)

田辺市本宮町皆地 芝 安男 様宅

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 S A A : 那須 正志

那智勝浦RC 10月18日(木)→10月18日(木)
12:30~ コーヒー例会
勝浦シティプラザリゾートホテル内
レストラン マールベリーハウス
10月25日(木)→10月27日(土)
大阪 堺市内(場所は未定)

8. 委員会報告

○広報・雑誌・IT委員会 委員長 宮田 敬之佑君



「ロータリーの友」について、10月号では職業奉仕月間の特集が組まれています。また、2013年ロータリー国際大会が6月23~26日にポルトガルの里斯ボンで開催されます。こちらも紹介されていますので読んでください。

今日は、温山荘での月見例会なので温山荘と海南東ロータリーについて話します。温山荘には創立5周年記念植樹で桜を植えています。この桜も今では立派に成長し、春には満開の花を咲かせています。また、韓国との姉妹クラブ締結を記念してヤマモモ植樹と石碑を建てています。是非、機会があれば見てください。



9. ゲストスピーチ 米山奨学生 代向斐様



みなさん、今晚は。いつもお世話になります。9月から中国語会話の勉強会をしています。今月は10月17日に開かれますので、是非、皆さん参加してください。宜しくお願いします。

10. 温山荘の説明

公益財団法人琴ノ浦温山荘園

常務理事 山本様、園長 阪井様

当園は、明治21年に日本で初めて動力伝動用革ベルトを作成し、その後、世界有数のベルトメーカーとなった新田帶革製造所(現ニッタ株式会社)の創業者、新田長次郎翁により、この地に大正初期から造園されました。



「温山荘」の名称は“温山”の雅号を持つ翁の求めに応じて、東郷平八郎元帥により命名されました。当初は翁の健康維持のために使用していましたが、在世中に一般人にも解放されるようになりました。翁の没後はその遺志により、「財団法人 琴ノ浦温山荘園」を設立し、当財団が管理にあたっています。なお、平成



10年には当荘園の建造物が、文化庁文化財部より「登録有形文化財」の指定を受け、平成22年2月に庭園が国名勝の指定、平成22年6月に建物が重要文化財指定を受けています。庭園内は松林が美しく繁り、時おり魚の跳ねる音が静けさを一層際立たせます。伝統的な和風建築の主屋、茶室などをゆったりと鑑賞し、座敷に座って庭の全景を眺めながら心安らぐひと時を過ごすことができます。作庭は、武者小路千家の家元名代であった木津宗泉の指導で完成し、開園当時は、皇族の方々や官界他著名人が多数来園されました。紀州路随一の大庭園(18,000坪)です。



ピアニカ演奏

文化財ですので、普段、夜は開放しておりませんが、日頃からお世話になっている海南東ロータリークラブ皆様には特別にご利用いただきました。音楽演奏などもご用意させていただきました。本日はごゆっくりお楽しみください。

山田 裕之君



10. 新入会員の紹介及び歓迎会

今月から入会させていただきました。前任の川田と交代になります。勤務先は同じく株式会社・コートです。つい最近まで、京都に住んでいました。まだ、わからないことばかりです。皆さん、宜しくご指導、ご鞭撻のほどお願いします。



会長からロータリーバッジ



山畑さんから花束贈呈

11. 閉会点鐘

次回例会

休会(祝日) 23年10月8日(月)

第1721回例会 23年10月15日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 テレビ和歌山 岩田様

海南3クラブ合同公開例会

平成24年10月22日(月) 19:00~20:30

海南保健福祉センター

講演会「濱口梧陵と津波防災について」

稻むらの火の館 館長 熊野亨氏



ニコニコ・BOX



Happy birthday!

10月のお祝い



会員誕生日

2日 中村 文雄君	2日 魚谷 幸司君
5日 大江 久夫君	14日 小久保 好章君
14日 千賀 知起君	26日 谷脇 良樹君

奥様・旦那様誕生日

3日 山東 久枝様	13日 大澤 喜久子様
16日 辻 清子様	20日 岩井 まり子様
24日 濑藤 憲康様	24日 那須 和美様

結婚記念日

4日 角谷 勝司君	6日 大澤 祥宏君
19日 木地 義和君	19日 上中 翔郎君
24日 山東 剛一君	25日 萩野 昭裕君
30日 塩崎 博司君	31日 千賀 知起君

一般ニコニコ

宮田 敬之佑君 温山荘の月見に乾杯。
平尾 寧章君 温山荘に初めて来ました。



国際ロータリー ニュース

9月のRI会長メッセージ

職業奉仕を理解した時

朋友ロータリアンの皆さん、ロータリアンはみな同じではありません。それぞれのロータリアンがそれぞれの理由でロータリーに入会し、多くの方が「ロータリー・メント」と呼ばれる体験、すなわちクラブの会員から、熱意ある真のロータリアンとなった、その瞬間の鮮明な記憶をお持ちだと思います。

田中 作次会長



きっかけはさまざま

私は、これらの物語を聞き、皆さんがどのようなきっかけでロータリーに引きつけられるようになったのかを知るのが好きです。クラブや地区の役員になったこと、奉仕プロジェクト、国際大会など、人によってきっかけはさまざまです。私にとってのそれは、入会して2年ほどたった時に八潮ロータリークラブの例会で聞いた、ある卓話でした。

私は八潮RCの創立会員ですが、創立会長だった人に推薦されて入会しました。当時、私はロータリーについて聞いたこともなく、奉仕が何を意味するのかもわかりませんでした。しかし、東京から八潮に移り住んだばかりの頃で知り合いも少なく、友人をつくり、仕事にも役立てば、と思い入会しました。私を推薦してくださった人を非常に尊敬していたことも、理由の一つでした。

しかし正直に申し上げますと、最初の2年間は、私

たちは大したことをしませんでした。毎週例会に出席し、昼食を取り、卓話を聞くだけでした。会費を払い、ロータリー財団に寄付もしていましたが、奉仕活動には参加していませんでした。ですから、ロータリーの奉仕というものがどういうものかを知らなかったのです。

私を変えた職業奉仕という考え方

そんな状況が一変したのが、例会で、職業奉仕の卓話を聞いた時でした。職業奉仕という考え方とは、私にとってまったく新しいものでした。それまでは、人生の目的や仕事をする理由について、あまり考えたことはありませんでした。何より仕事が忙しかったのです。常に会社のこと、そしてそれを大きく、素晴らしい会社にすることばかり考え、あらためて仕事の真の目的を考えたことがありませんでした。

職業奉仕という考え方を理解してから、自分の仕事や人生の目的に対する態度が完全に変わりました。仕事をする目的とは、ただお金を稼ぐだけでなく、いかに地域社会に貢献し、地域社会や人々の生活をより良くできるかにあると気づいたのです。これを理解した時、「超我的奉仕」の考え方を理解できました。それから私の人生は変わり、ロータリーでの奉仕に積極的に参加するようになりました。これが、私のロータリー・メントです。

児童保護に活躍する

元ロータリー平和フェロー

カティア・ジメーロ・ダンタスさんは、ポルノ、人身売買、誘拐などの防止に取り組んできましたが、この1年、インターネットを利用した性犯罪から、子供たちを守ることに特に力を注いてきました。

ダンタスさんは、行方不明となっている、あるいは強制労働を強いられている子供たちを保護する国際センターの、政策担当責任者を務めています。同センターのデータによると、毎年、少なくとも世界で2万2千人以上の子供たちが行方不明となり、5千人が売春組織の犠牲となっているといわれています。

米国、バージニア州に本部を置く同センターでは、今まで、110カ国以上の3,200人を超える警察関係者が研修を受け、現在、世界中の政府が手本とできるような児童保護法の草案が作成されています。ダンタスさんの役割は、中南米およびカリブ海地域の各国に赴き、保護法の草案を作成しながら、効果的な証拠の収集方法や、有罪判決に結びつく起訴の方法について、警察や司法関係者を研修することにあります。



子どもたちを性的強制労働から守るための国際会議で、パネリストを務めるカティア・ジメーロ・ダンタスさん(写真提供: Katia de Mello Dantas)

同センターに勤務する前、ダンタスさんは、2007-09年度ロータリー平和フェローとして、米国国際開発庁のブラジル支局で働き、国境を越えた人的移動がエイズの感染拡大にもたらす影響などを調査する実地研究を行いました。米国のデューク大学、ノースカロライナ大学にあるロータリー平和センターで学んだダンタスさんは、2005-06年度に第4530地区（ブラジル）が第7980地区（米国）に派遣した研究グループ交換の一員でもありました。「平和フェローシップのおかげで、人的ネットワークが大きく広がり、児童の強制労働、虐待、誘拐の防止に取り組む上で役立っています。デューク大学では、さまざまなことを学びましたが、それらはすべて、私の毎日の仕事に当てはまるものです。そして、くじけそうになると、いつも「超我の奉仕」と自分に言い聞かせて、がんばっています」と語るダンタスさん。「性犯罪者の犠牲になる子供たちが、一人でも少なくなってくれることが、心の支えです。努力を続けていけば、いずれ子供たちが心無い大人たちの犠牲者とならず、人権が守られ、子どもも楽しく暮らせるようになると信じています」

ポリオ撲滅に向け 7,500万ドルを

新たに投入



ニューヨークで開催された国連のポリオ特別会合にて。写真右より、ウィルフレッド・ウィルキンソン財團管理委員長、ポリオ経験者のロータリアンであるラメッシュ・フェリスさん、ジョン・ジャムム国際ポリオ・プラス委員会副委員長、ジョン・ヒューコ事務総長。

表明しました。ロータリーは、これまでに12億ドル近い資金を撲滅活動に投入しており、撲滅を実現させるために、今後も支援を続けることを力強くアピールしました。

「Our Commitment to the Next Generation: The Legacy of a Polio-free World (次世代への約束: ポリオのない世界へ)」と題された今回の特別行事には、野生ポリオウイルスが残存する国（アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア）や支援国のリーダー、支援団体やGPEI協力団体の代表が出席しました。また、ウイルス常在国から他国にポリオウイルスが伝搬する危険性があるため、撲滅活動の重要性を伝えるメディア関係者も会場に集まりました。

潘 基文事務総長は、GPEIへの支援増加を国連加盟国に訴えました。ロータリー、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センターによって1988年に発足し、現在、ビル・ゲイツ財団や国連財団も参加しています。ポリオ撲滅は、「保健と正義の問題」であ

ると、潘 基文事務総長は話します。「すべての子どもたちが公平に、疾病から守られた状態で生活できるようにならなければなりません。ですから、事務総長として二期目を迎える私は、ポリオ撲滅を優先項目とすることに決めました」「ポリオのない世界を実現するために、各国政府からの一層の支援が必要とされている」と話すのは、ロータリー財団のウィルフレッド・ウィルキンソン管理委員長です。「ポリオ撲滅は今までにないほど実現に近づいており、このチャンスを逃さないためにも、今すぐ行動しなければなりません。さもなければ、世界の子どもたちへの約束は決して果たされないでしょう」

パキスタンでは、撲滅活動を支えるために、イスラム開発銀行がパキスタン政府への融資を行うことを発表しました。またゲイツ財団が、この融資から生じる利子をパキスタン政府に代わって支払うことを申し出ました。今回の一連の決定は、去る5月、世界保健総会にてポリオ撲滅が「世界公共衛生プログラムにおける緊急事態」と宣言されたことを受けたものです。毎年35万人の子どもがポリオに感染していた1988年から、発症数は99%以上減少し、2012年も9月19日現在において世界全体で150件と極めて低くなっています。しかし、2013年にかけて7億9,000万ドルという深刻な資金不足が懸念されており、現に、ポリオ再感染のハイリスク国で予防接種活動が中止される事態が相次いでいます。撲滅が失敗に終わり、ポリオの再流行が起こった場合、年に20万人に上る子どもが身体障害に陥ることが予想されています。ロータリーは、GPEIのパートナー団体と協力し、これまでに25億人以上の子どもに経口ポリオワクチンの予防接種を行ってきました。これにより、800万人の子どもを身体麻痺の危険から守り、数十万件に及ぶ小児死亡を防ぐことができたとされています。ロータリーは、募金と各国政府への支援の呼びかけに力を注いでおり、ポリオ撲滅が近づきつつある今、その重要性はさらに大きくなっています。

今月、ポリオ撲滅活動への支援向上を目的としたロータリーのウェブサイトが新たに公開されました。このウェブサイトを通じて、各国のリーダーに資金援助を懇請する署名が集められ、上記の国連特別行事で、ウィルキンソン管理委員長が代表して署名リストを提出しました。

ロータリーの魅力を伝えるヒントは 「ロータリー・リーダー」をご覧ください。

「ロータリー・リーダー」はクラブと地区の役員が日々直面する課題や問題を克服する上で役立つ、実践的な情報やリンクを提供するオンラインのマルチメディア出版物です。



10月は職業奉仕月間です